

第35回関西障がい学生支援担当者懇談会（2025年9月10日開催）

【アンケート集計結果】

2～4はKSSK開催前の申込時にアンケートを実施（出席人数55名※うち回答者50名）／5～10はKSSK開催後にアンケートを実施（回答人数33名※回収率60.0%）
8のみ回答人数14名（※参加人数18名、回収率77.7%）

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
京都外国語大学	2
京都橘大学	2
京都芸術大学	1
京都産業大学	1
京都女子大学	2
京都精華大学	4
京都先端科学大学	1
京都大学	2
大谷大学	2
同志社女子大学	3
同志社大学	4
平安女学院大学	1
佛教大学	3
花園大学	1
合計	29

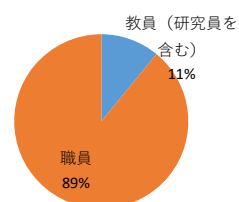
大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
関西医科大学	1
関西学院大学	2
関西大学	1
四天王寺大学	1
神戸女子大学・神戸女子短期大学	1
摂南大学	1
大阪観光大学	1
大阪経済大学	2
大阪公立大学	3
大阪産業大学	1
大阪大学	2
長浜バイオ大学	1
帝塚山学院大学	1
桃山学院大学	6
奈良学園大学	1
奈良女子大学	1
合計	26

1-2 区分

No	選択肢	人数	%
1	教員（研究員を含む）	6	10.9
2	職員	49	89.1
	合計	55	100.0

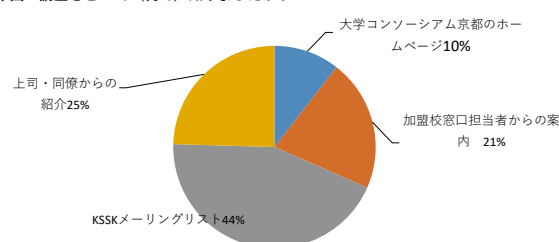
1-2 区分



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

No	選択肢	人数	%
1	大学コンソーシアム京都のホームページ	6	10.5
2	加盟校窓口担当者からの案内	12	21.1
3	KSSKメーリングリスト	25	43.9
4	上司・同僚からの紹介	14	24.6
5	知り合いからの紹介	0	0.0
6	その他	0	0.0
	合計	57	100.0

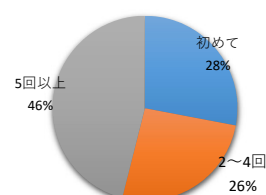
2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？



3. KSSKは何回目の参加でしたか？

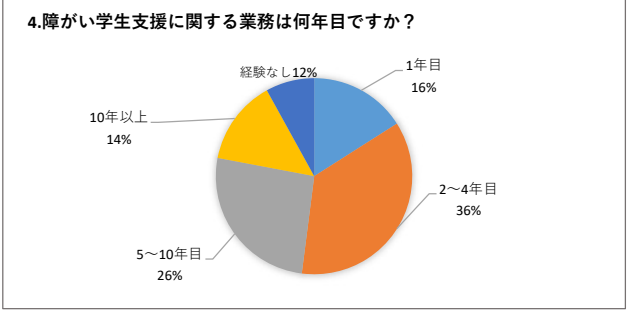
No	選択肢	人数	%
1	初めて	14	28.0
2	2～4回	13	26.0
3	5回以上	23	46.0
4	無回答	0	0.0
	合計	50	100.0

3. KSSKは何回目の参加でしたか？



4. 障がい学生支援に関する業務経験は何年目ですか？

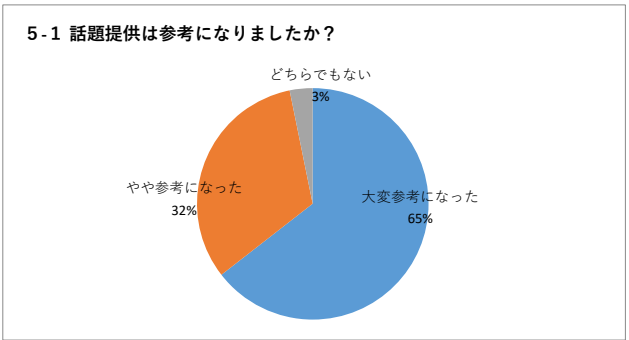
No	選択肢	人数	%
1	1年目	8	16.0
2	2～4年	18	36.0
3	5～10年未満	13	26.0
4	10年以上	7	14.0
5	経験なし	4	8.0
6	無回答	0	0.0
合計		50	100.0



5. 話題提供について

5-1 話題提供は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	20	60.6
2	やや参考になった	10	30.3
3	どちらでもない	1	3.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
6	参加していない	2	6.1
合計		33	100.0



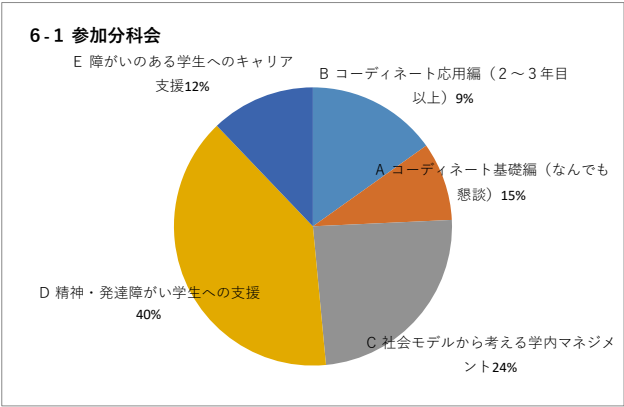
5-2 上記5-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答内容	理由
1	大変参考になった	学生支援の仕組みが大変参考になった
2	大変参考になった	学内の体制整備や風土改革などを教職員との関係性を積極的に構築していく手法や姿勢を知り、自身の課題感を感じたため
3	大変参考になった	京都先端科学大学の障がい学生支援の状況がとてもわかりやすかった為。
4	大変参考になった	具体的な対応について詳しく知ることができたから
5	大変参考になった	健康調査票、支援A,Bなど
6	大変参考になった	合理的配慮の手続きの流れが詳細で大変分かりやすかったです。また、入学時の健康調査を紙での提出にしている理由も参考になりました。
7	大変参考になった	支援における仕組みづくり、支援を状態によってA・Bに分けて対応するといった工夫をお教えいただき、とても参考になった。
8	大変参考になった	支援を必要とする学生が増えてくる中で、配慮のレベル分けをされて申請を進めていくという点が斬新で刺激を受けました。
9	大変参考になった	支援体制
10	大変参考になった	取り組み状況や課題等を共有させていただけました。
11	大変参考になった	受け入れの際の支援A、支援Bに分けて対応されているところ、大変参考になりました。
12	大変参考になった	初めの話題提供が、良かったです。
13	大変参考になった	他大学での対応について、現場の声を聞けることは大変ありがたく参考になりました。
14	大変参考になった	多くの留学生を受け入れられている点、英語のみの授業をされている点で、たくさん情報をいただきました
15	大変参考になった	大学の意思決定やコンセンサスの取り方が合理的で参考にしたいと思いました。
16	大変参考になった	飛躍的に環境整備にご尽力されたその内容を伺い、自大学の状況に置き換えて見直す機会となりました。ありがとうございました。
17	やや参考になった	いろいろな工夫をされていることがわかった。もう少し細かな内容まで聞ける時間があればと思った。
18	やや参考になった	規模や背景が違うので、直接的な参考にはなりにくかったが、取組等の部分では参考になるところが多かった。
19	やや参考になった	京都先端科学大学の配慮申請フローについて知ることができた。
20	やや参考になった	他大学の合理的配慮や修学支援について、直接お話を伺う機会が少なかったため、貴重な機会となりました。
21	やや参考になった	他大学の様子がうかがえ参考になりました。
22	やや参考になった	普通に参考にはなるが、「社会モデル」的な視点は感じなかった。
23	やや参考になった	本学とは異なる運用ケースのご紹介があった

6. 分科会について

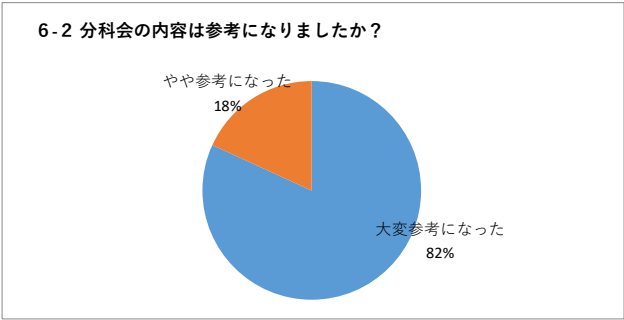
6-1 参加分科会（受付名簿より算出）

No	選択肢	人数	%
1	A コーディネート基礎編（なんでも懇談）	5	15.2
2	B コーディネート応用編（2～3年目以上）	3	9.1
3	C 社会モデルから考える学内マネジメント	8	24.2
4	D 精神・発達障がい学生への支援	13	39.4
5	E 障がいのある学生へのキャリア支援	4	12.1
6	参加していない	0	0.0
合計		33	100.0



6-2 分科会の内容は参考になりましたか？

No	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	27	81.8
2	やや参考になった	6	18.2
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
合計		33	100.0



6-3 上記6-2の回答を選択された理由をご記入ください。

◆A：コーディネート基礎編（なんでも懇談）（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	規模や文化の異なる各大学の状況でそれぞれの業務を全うされている方々の悩みや課題を共有できましたので大変力をいただきました。ありがとうございました。
2	大変参考になった	現場で活躍されている方々の現状を聞くことができ大変参考になった為。
3	大変参考になった	他大学さんでの取り組みや等の現状を知ることができたから。
4	やや参考になった	各大学の運用事例を知ることができたため

◆B：コーディネート応用編（2～3年目以上）（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	ざっくりばらんに困っているケースを話し合えたから
2	大変参考になった	各校の様々な状況を知ることができた。また今後活かそう話を聞くことができた。
3	大変参考になった	様々な事例がありましたが、支援部署として、配慮内容決定事項についてしっかりと説明ができること、本人のニーズの聞き取りや申請意思もふまえては対話が大切だということがよく分かりました。また、保護者対応に苦慮されているお話しも多くあがっており、保護者への合理的配慮の周知や浸透は、初等教育からの取り組みが重要であると感じました。

◆C：社会モデルから考える学内マネジメント（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	「社会モデル」の視点から、現場のいろんなことで意見交換でき、励まされたから。自分の感覚を信じることができた。
2	大変参考になった	参考になる事例等をお聞きすることができ良かったです。
3	大変参考になった	社会モデルの基本的な考え方を踏まえつつ、実践上の課題を話し合うことができた。
4	大変参考になった	障害の社会モデルという切り口から、マネジメントやコーディネートの方向性を改めて考えることができたから
5	やや参考になった	改めて社会モデルの概念を整理することができた。ディスカッションの内容が、社会モデルの側面と逸れることも多く、議論の柱を整理できると思った。
6	やや参考になった	社会モデル理解のレクチャーから分科会がスタートし、まだまだ業務歴の浅い自分にとって協議の理解を深める助けになりました。また、他大学の皆様が日々感じておられる課題、お悩みなど、自校の状況と似通った部分も多々あり、解決とはいかずとも同じように悩んでおられる方がたくさんいらっしゃることに心強さも感じました。

◆『D 合理的配慮の決定プロセスと依頼方法について（サンプル提示）』（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	大変参考になった	ひとグループ6人という環境がより各大学の実情や考えを聞きやすく、自分自身も話しやすかったため、具体的に参考になる点が多かった
2	大変参考になった	各大学の皆様と意見交換・情報共有を行うことができて、とても有意義だった。
3	大変参考になった	各大学様の独自の課題や共通の課題等多くを共有できました。
4	大変参考になった	希死念慮のある学生への対応について、フローチャートを作成された大学があるという情報を得ることができました。今後の参考にさせていただければと思います。
5	大変参考になった	合理的配慮について大学学部として決めていることと授業の目的達成の兼ね合いについて新たな疑問が出て来ました。ヒントは頂いたので、自校に戻り、話し合って行きたいと思います。
6	大変参考になった	少人数グループのやり取りでしたが、各大学様々な事例があり、大変参考になりました。 最後のまとめで楠先生が話をされた「まずはシンプルにスタートラインを揃えること」というお話が当たり前のことのように、支援しているうちに忘れてしまいそうになることがあり、この機会に改めて確認できた事が良かったです。
7	大変参考になった	少人数での意見交換ができて、良かった。
8	大変参考になった	職種の違う方のお考えや対応についての理解が深まりました。
9	大変参考になった	他学の実務者が集まっているため、自分の大学にはないシステムや経験を聞くことができる。
10	大変参考になった	様々なテーマに関する他大学の情報収集ができたから
11	やや参考になった	KSSKには、初めて参加させていただきましたが、少人数のグループで各大学の実情を共有し合うことができました。それぞれの大学で工夫されている点、苦労されている点、など、講義形式の研修会では共有することが難しい部分もディスカッションできたのでよかったです。
12	やや参考になった	今まで他大学の支援方法や状況、苦労話を聞いたことがなかったため、驚くことも多く楽しい懇談会でした。

◆『E 発達障がい、精神障がい者への実験・実習対応について』（記述内容一部抜粋）

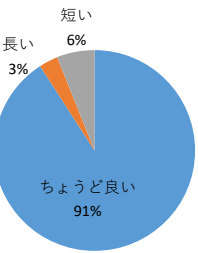
No	回答	記述
1	大変参考になった	キャリア支援というテーマで、システム的な話が多いのかなあと思ったのですが、実際は学生の育ちや歩みを大事にして伴走されている方々が多く、私自身励みになりました。学生ともがいてみる時間も尊く感じられるようになりました。ありがとうございました。
2	大変参考になった	就職にとどまらず、学生のキャリア形成というところについても意見を共有しあえ、コーディネーターとしての視点を考え直す機会となりました
3	大変参考になった	免許学科の大学が多かったので参考になった。
4	大変参考になった	歴が浅く、障がい学生の支援について対応に迷うことがたくさんありますが、それらの日々の疑問や葛藤に対していろんな方からアドバイスをいただけたので、大変学びが深かったです。

7. 懇談会全体について

7-1 時間配分

No	選択肢	人数	%
1	ちょうど良い	30	90.9
2	長い	1	3.0
3	短い	2	6.1
4	その他	0	0.0
5	無回答	0	0.0
合計		33	100.0

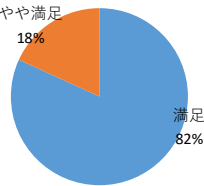
7-1 時間配分



7-2 満足度

No	選択肢	人数	%
1	満足	27	81.8
2	やや満足	6	18.2
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		33	100.0

7-2 満足度



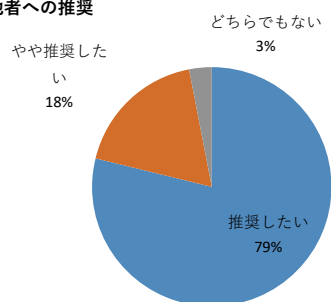
7-3 上記7-2の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	回答	記述
1	満足	いつも感じるのですが、参加すると本当に勉強になり、また勇気づけられるので。
2	満足	いつも貴重な意見交換の場とさせていただいております
3	満足	とても和やかな雰囲気だった為。
4	満足	学びが深かったから
5	満足	関西圏の大学で、障害学生支援に携わる皆様と顔を合わせ、各大学の状況や取組などお聞きできて、大変満足しております。1点だけ、私は初参加だったこともあり、休憩時間に名刺交換に挑みましたが、時間が短く、皆様へのご挨拶が慌ただしくなっていました。少しでよいので、ゆったり時間を設けていただけると嬉しいです。
6	満足	久しぶりに参加させていただいて、現場レベルでの意見交換ができたこと。
7	満足	今回、初めて参加させていただきました。ありがとうございます。
8	満足	再会するメンバーや新しいメンバーとお話ができ、大変心強い思いを胸に参加させていただいております。懇談会で、持ち込んだ自大学の課題等に関する情報収集するには、いくら時間があっても足りないくらいですが、この度も多くを学ませていただき、皆様と課題意識を共有できた感覚を共有でき、大変勇気をいただきました。ありがとうございます。
9	満足	参加者が積極的に意見を交換されていたから
10	満足	自身の参加した分科会以外のお話も興味深く聞きました。
11	満足	実務者が諸課題を具体的に共有できる貴重な機会であり感謝しています。
12	満足	初めて参加した人などを置き去りにしない温かい雰囲気、現場のニーズに即した分科会構成など、よくやれていると思う。「懇談会」である意味がよくわかった。
13	満足	所属する大学の体制や風土に甘んじてしまうところを、これでよいのか、他にできることはないかと考える機会になったため
14	満足	他の大学のコーディネーターさんとなつながりを持つことができたから
15	満足	他大学の取り組みを知ることができて、参考になる。
16	満足	他大学の方と交流できる良い機会になったため
17	満足	毎回勉強になり、人の繋がりが出きる会だと思います。
18	満足	様々な規模や職種の方々が一堂に会してお話できる機会のため。
19	満足	他大学の担当者と知り合うことができた。
20	満足	他大学の様子を知ることができたため
21	満足	大変有意義でした。
22	満足	知識的な部分をアップデートする機会になる上に、各大学の状況具体的にも知ることができるため。
23	満足	分科会が長いことで、皆さんとの共有時間も長くっていただけるため。
24	満足	別々の職場で、一同に会することの重みなど
25	満足	毎年、運営されている先生方やリピーターで参加されている方のお顔を見ることができるだけで、ほっとしています。
26	満足	約8年ぶりに参加をしましたが、久しぶりにホームに戻ってきた気持ちになりました。他大学の取組状況等も学ぶことが多く、勉強になりました。
27	満足	立ち上げからこんにちでの活動のご苦労に頭がさがります。趣旨に賛同する大学も多く、このような会があることは関西の誇りです。
28	満足	話題提供では示唆に富んだ内容を提示していただき、分科会Cでは様々な大学の方々と身体障害学生の支援について議論をすることができたためです。
29	満足	話題提供や分科会のテーマが身近な内容であり、普段見えてこない他大学の取り組みや悩み課題を共有できる貴重な場と思います。大きな変化を起こすことは難しいですが、まずは自分自身でできることは何だろうと考える機会になりました。
30	やや満足	話題提供のボリュームが多いのに、時間が少なかったので理解が難しい。

7-4 他者への推奨

No	選択肢	人数	%
1	推奨したい	26	78.8
2	やや推奨したい	6	18.2
3	どちらでもない	1	3.0
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨したくない	0	0.0
6	やや推奨したい	0	0.0
合計		33	100.0

7-4 他者への推奨

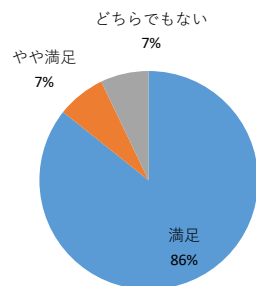


8. 情報交換会について

8-1 満足度

	選択肢	人数	%
1	満足	12	85.7
2	やや満足	1	7.1
3	どちらでもない	1	7.1
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
合計		14	100.0

8-1 満足度



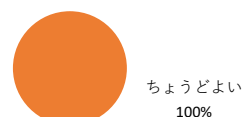
8-2 上記8-1の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	満足 ажяриもち、ありがとうございます。適当なお菓子たくさんより、こういうのもいいですね。
2	満足 ざっくばらんにお話できる環境がありがたく思いました。
3	満足 テーマもなくざっくばらんに話ができて良い。
4	満足 皆さんと話ができたから
5	満足 少しテーブルごとでバラつきがありましたが、分科会よりもう少し奥深いお話しをできたのでとても良かったです。美味しいお菓子もありがとうございます
6	満足 情報交換会も2回目の参加でしたが同じテーブルの皆さんが、ざっくばらんに話をしてくださったことに大変感謝しております。
7	満足 他大学の方と交流できる良い機会になったため
8	満足 分科会以外の方とお話する機会を得ることができました。

8-3 時間配分

	選択肢	人数	%
1	長い	0	0.0
2	ちょうどよい	14	100.0
3	短い	0	0.0
合計		14	100.0

8-3 時間配分



9. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	「バリアに敏感になる」ということに関するワークショップ等。自身が過去に学生向けに行ったことがあるのですが、「バリア」に関して日々考えている人達が、ゆっくり考える機会があるといいなと思いました。
2	「社会モデル」や人権について、正面から話せる分科会
3	コーディネーターの葛藤など
4	就職先側の発達障害者への取り組み（障害者雇用ではなく）
5	修学支援の延長上にある生活支援と就労支援
6	精神・発達障害学生への対応は引き続き取り上げていていただきたいです。 その他、外部資源を利用する場合の繋がり方、注意点・工夫など
7	他部署との連携、情報共有について。
8	大学だけではサポートが困難な部分をどのように地域リソースを活用しながら支援していくか。
9	第三次まとめの要点を解説していただきたい。
10	定期試験や入試の配慮、国家試験での配慮という点でサポート部門がどのように関わっているか
11	発達・精神障害学生のエンパワメント及びセルフ・アドボカシーについて（どのような視点を持てばよいか、修学上の合理的配慮との関係、育成のための取り組み事例など）
12	分科会ではコーディネートの基礎と応用は継続して設ける方がよいかと思います。また、学部の特性（文系と理系）によって、必要な支援（施設や企業への実習、実験）の準備や視点などについて伺いたいと思います。

10. 懇談会の改善点があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	懇談会参加者が増える傾向であると思いますので、可能な限り、分科会枠の確定者への連絡をもう少し早めにごいただけるとありがたいです。
2	支障のない範囲で全体の出席者一覧があるとありがたいです。
3	当日配布する資料をデータでご提供いただきたい。
4	分科会の時間とのバランスになるが、話題提供の時間はもう少し長くてもいいのではないかな。
5	名札的なものがあればいいかなあ。と情報交換会の時に思いました。

11. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。（記述内容一部抜粋）

No	内容
1	いつもご準備や取りまとめ等ありがとうございます。
2	ますますの発展をのりします。
3	開催日程について可能であれば、あと2日ほど早めて（9月8日までくらい）いただけると助かります。
4	初めてご参加される方も増えました。実務担当者にとって身近で頼りになる懇談会として継続していくことを願っております。
5	情報交換会を急遽欠席し、せっかくの機会を逸してしまいました。また次の機会に参加させていただきます。